

## 授業改善プラン

地域名	南房総教育事務所	学校名	鴨川市立西条小学校
-----	----------	-----	-----------

### 1. 課題（全国学力・学習状況調査結果から）

- 平成30年度全国学力・学習状況調査において、算数A・Bともに「量と測定」に課題がある。問題文が長くなると正答率が低くなる傾向にあり、情報を整理しながら問題場を理解することも課題である。

### 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 児童に「考えの跡」を残させながら学習を進めれば、問題場を正しく理解することができ、友達との関わりの中で自分の考えを深め、進んで問題解決をすることができるだろう。

### 3. 具体的な実践

- 第4学年「角とその大きさ」【別添資料1】
  - ・角度の感覚を身に付けるために、 $90^\circ$ を基にしながら角度を予想する習慣作りを行った。
  - ・既習事項を生かすために、クラスで話し合いをし、本時の学習課題を選択していった。
  - ・友達の説明を繰り返させた。
- 第5学年「割合」【別添資料2】
  - ・「混み具合」「～あたり」といった算数用語の意味を丁寧におさえた。（パワーポイント等）
  - ・問題場を正しく捉えさせるために、数値の工夫をした。
  - ・まとめを自分の言葉で書かせた。
- その他全学年での授業研究会
  - ・自分の考えをノートに記す活動（考えの跡）の充実を図った。
  - ・話し合う内容を明確にしながら、ペアやグループで話し合う時間を設けた。

### 4. 成果

- 検証授業実施学年の結果について
  - ・4年 事後調査に「平成30年度全国学力・学習状況調査」A5（2）問題を実施したところ、全国平均正答率に比べ10ポイント、千葉県平均に比べ13ポイント上回った。
  - ・5年 事後調査に「平成30年度全国学力・学習状況調査」A4（2）問題を実施したところ、全国平均正答率に比べ20ポイント、千葉県平均に比べ22ポイント上回った。
- 学力向上交流会について【別添資料3】
  - ・研究テーマに即した授業実践が行われ、本校の成果と課題が明確になった。

#### ◆担当指導主事から（南房教育事務所 指導主事 榎本 正信）

「考えの跡」を記述させることから「問題場面の理解」「解決の見通し」「記述する力」を高めようと取り組んでいて、このことが主体的に学習に取り組む態度の向上にまでつながっている。「友達と関わる」ことの積み重ねから、児童の説明力や理解力が高まっている。自校の課題について教職員が共通理解できており、学校全体で授業改善に取り組んでいることが評価される。